

透析患者におけるアジルサルタンとオルメサルタンの 降圧効果は同等である

長崎腎病院

○中島さゆり 江藤りか 小嶺真耶 矢野未来 宮崎健一 李嘉明 澤瀬健次
橋口純一郎 原田孝司 船越哲

【目的】

血液透析患者におけるアジルサルタンとオルメサルタンの降圧効果の比較を行う。

【対象・方法】

当院でアジルサルタンまたはオルメサルタンを服用中の外来透析患者 47 名(うちアジルサルタン服用患者 23 名、オルメサルタン服用患者 24 名)に文書にて同意を得たのち、4 週間アジルサルタンをオルメサルタンへ、オルメサルタンをアジルサルタンへ変更し透析前の血圧、透析中の血圧変動を評価した。

【結果】

同意取得した 47 名中 19 名が降圧剤の変更、ドライウェイト変更等により研究より脱落した。最終的な評価対象はオルメサルタン服用患者 13 名、アジルサルタン服用患者 15 名であった。薬剤変更 1 週間前、変更 2 週間後の透析前血圧はオルメサルタン服用患者が $153.7 \pm 22.2 / 81.4 \pm 18.0$ mmHg、 $152.5 \pm 16.2 / 79.5 \pm 15.5$ mmHg、アジルサルタン服用患者が $153.1 \pm 16.7 / 79.8 \pm 13.8$ mmHg、 $160.7 \pm 14 / 83.2 \pm 11.0$ mmHg であった。透析中の血圧変動にも大きな違いはなかった。

【考察】

透析患者におけるアジルサルタンとオルメサルタンの降圧効果には大きな差はないものと考えられる。従って薬剤選択の際には患者の服用感なども選択の決め手となるものと思われる。